

平成 27 年 3 月 5 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 g u m i  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 國 光 宏 尚  
 (コード番号：3903 東証市場第一部)  
 問 合 せ 先 取 締 役 川 本 寛 之  
 ( TEL. 03-5358-5322)

### 当期連結業績予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 3 月 6 日に発表予定の当第 3 四半期決算内容や、平成 27 年 2 月度の業績が当初計画対比で大幅に乖離したことを踏まえ、平成 26 年 12 月 18 日に公表した平成 27 年 4 月期（平成 26 年 5 月 1 日～平成 27 年 4 月 30 日）の連結業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

また、あわせて経営責任を明確にするため役員報酬の減額を決定しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 26 年 5 月 1 日～平成 27 年 4 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 30,972	百万円 1,329	百万円 1,277	百万円 808	円 銭 31.30
今回修正予想 (B)	26,500	△400	△600	0	0.0
増 減 額 (B-A)	△4,472	△1,729	△1,877	△808	△31.30
増 減 率 ( % )	△14.4%	—	—	△100.0%	△100.0%
(参考) 前期実績 (平成 26 年 4 月期)	11,192	△102	△168	△184	△10.83

#### 2. 連結業績予想修正の理由

当社の平成 27 年 4 月期の連結業績予想につきまして修正を行う理由は以下のとおりです。

##### ① 「ブレイブ フロンティア」の海外言語版の売上計画修正

a: 当第 3 四半期で計画が未達となったこと

→ MAU（月次アクティブユーザー数）の若干の弱含みに加え、日本語版にて投入した新規施策の反映までにタイムラグが生じたことに伴い、課金率、ARPPU（課金ユーザー一人あたりの平均月間課金額）共に当第 2 四半期比で低下したもの

b: 当第4四半期の売上計画を引き下げたこと

→ 当第4四半期にて日本語版で奏功した施策の導入による課金率、ARPPUの上昇を予定するも、足元のMAUの若干の弱含みを考慮し、売上計画は保守的な水準を採用

② パブリッシングサービスの立ち上がりの遅延による売上計画修正

a: 当第3四半期で計画が未達となったこと

→ 複数タイトルのリリースは予定通り行い、一定のユーザー基盤を確保したものの、各タイトルにおける各国市場の嗜好に適した新規コンテンツ・新システムの投入の遅れにより、売上計画未達となったもの

b: 当第4四半期の売上計画を引き下げたこと

→ 当該タイトルへの新規コンテンツ・新システムの投入は鋭意進めていくものの、実装までに必要な期間を考慮し、売上計画は保守的な水準を採用

③ 一部海外向け新規タイトルの売上計画修正

a: 当第3四半期で計画が未達となったこと

→ 一部タイトルが計画を大幅に下回る水準にて推移し、売上計画未達となったもの

b: 当第4四半期の売上計画を引き下げたこと

→ 当該タイトルの売上計画の引き下げを行ったもの

上記要因による売上高の落ち込みが想定を上回り、海外展開を積極的に進めていたために上昇した固定費が利益を圧迫し、営業損失を計上する見込みです。

当期純利益については、繰延税金資産の計上が見込めるため、法人税等調整額が当期純利益に対しプラスに寄与することを織り込み、0円となる見込みです。

### 3. 今後の取り組みについて

今後につきましては、以下施策を着実に実行し、業績の回復と拡大に向けて全力を尽くしてまいります。

① 売上高の拡大

1 既存タイトル（ネイティブアプリ）

a: ブレイブ フロンティア（日本語版）：新規施策の積極投入及び年間スケジュールに基づく安定的な運用

ブレイブ フロンティア（海外言語版）：日本語版で奏功した施策の適時投入及び効果検証を踏まえた適切な広告投下によるユーザー基盤の増大

b: ファントム オブ キル：当第4四半期のTVCM放映での大規模なユーザー獲得による売上拡大

c: ドラゴンジェネシス：少人数運営による高収益モデルの継続

d: ソードアート・オンライン コード・レジスタ：新規施策の積極投入による売上拡大（同タイトル販売/配信元はバンダイナムコゲームスであり、当社が開発を担当）

e: パブリッシングサービス：新規コンテンツ・新システムの投入により収益化を加速

2 新規タイトル（ネイティブアプリ）

a:新規タイトル 18 本の開発早期化（他社 IP タイトル、リアルグラフ向け、パブリッシングサービスを含む）

② 海外展開の立ち上げの加速と更なる強化

a:海外 9 拠点の子会社の経営資源を活用し、クロスボーダーの強固なコンテンツ配信網を構築

b:立ち上がりが遅延しているパブリッシングサービスについては IP ホルダーとの連携強化による各国市場に合わせたコンテンツ追加の早期化に取り組み、収益化を加速。また当社のリリースするオリジナルタイトルについても積極的に展開

c:海外子会社におけるオリジナルタイトルの開発強化

③ コストの合理化

a:開発費は、国内・海外の開発ライン増強に関する投資は一巡しており、今後は緩やかな増加傾向に転じる見通し

b:広告宣伝費は、タイトル毎の広告効果の検証を一層強化するとともに、自社タイトル間のクロスプロモーション等を積極的に実施することで、売上高広告宣伝費比率で 15%を目指す

④ タイトルポートフォリオの構築

a:パブリッシングの立ち上げの早期化を推進しつつ、オリジナル、IP、リアルグラフ向け及びパブリッシングタイトル（ハイリスク・ハイリターン～ローリスク・ローリターン）をバランスよく提供することで、安定的な売上拡大及び強固な収益基盤の構築を図る

4. 役員報酬の減額について

このたびの平成 27 年 4 月期連結業績予想の下方修正という結果を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬の減額を実施します。

①役員報酬減額の内容

代表取締役社長 役員報酬月額の 100%を減額

②対象期間

平成 27 年 3 月から 8 月までの 6 ヶ月間

なお当社の平成 27 年 4 月期第 3 四半期決算短信の発表は、3 月 6 日の 15 時を予定しています。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上